

事業報告書 (令和3年度)

事業名 カラフルな個性って面白い!世界を共有し、未来へ
(発達に特性を持つ子どもたち、大人たちの持っている力をより社会で発揮して行くための、土台作りとしての情報共有や相談の場、自己理解や他者理解の場の提供)

団体名 カラフルキッズの会にじのね

担当者名 田中 朋子

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)
1. にじのね座談会(毎月第4金曜日開催) 2. にじのね夜カフェ 3. にじのね楽習会(1月) 4. SNS等での交流・情報発信
*詳細は別紙
2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、公民館が年度当初公民館が使用できなくなり、9月まではオンラインでの座談会のみで開催となったが、実際に対面できない状況下でも、途切れることなく誰かと繋がれる環境を設定した。 10月からは会場を岡山南ふれあいセンターに設定し、和室を2室使用して間隔を取って開催できるよう配慮をして、座談会を再開した。 また、平日の座談会には仕事等の関係で参加できないため、夜もしくは土日に開催してほしいとの参加者からの声を受け、2月にオンラインのみでの夜の座談会「夜カフェ」を開催した。今後も継続して開催予定。 1月には感覚統合と音楽療法の実践をされている柿崎次子先生にご協力いただいてどこにいても参加できるオンラインでの講演会を開催した。 昨年に引き続き、市内で活動している親の会の交流会にも参加し、情報交換などの横のつながりを構築することができた。
3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など) オンラインを用いての開催は、コロナ禍で外出しにくい、人に会いにくい状況でも継続して開催できたため、「誰かと話せるっていいですね」の声も聞かれるなど、孤独感の軽減が図れた。 また、10月からは対面座談会とオンライン座談会を同時開催し、どこにいても繋がれる環境を設定して「家にいても会場にいるように参加できてよかった」と好評であった。 1月に開催した感覚統合と音楽療法の楽習会では、オンラインを通じて全国から60名ほどのカラフルキッズの保護者の方・支援者の方にもご参加いただき、新たな繋がりを作るこ

(様式第8号)

とができた。

内容も好評であり、またぜひ参加したいとの声も多く聞かれた。

4. 今後の課題と展望

今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、企画していたイベントなどの中止を余儀なくされたが、継続して活動を行うこと、場の提供をすることの重要性を再確認した。

今後も引き続きオンラインでの企画も開催し、どこにいても、どんな状況でも繋がれる環境を設定していきたい。

また、HP上でカラフルキッズの育ちを応援する情報などを随時更新したり、誰でも参加できるイベントや楽しく学ぶ楽習会を開催するなど、楽習会の名前の由来のようにカラフルキッズを育てる保護者の子育てが楽しく、楽になるような企画をしていきたい。